

## 指定管理者モニタリングシート（令和元年度分）

施設の名 称	富里市こども館（葉山キッズ・ランド）
施設の設置目的	児童福祉法（昭和 22 年法律第 67 号）に基づく児童の健全育成及び子育て支援の推進を図る。
施設の概要	【所在地】 富里市御料 923 番地 1 【構造】 木造平屋建て 敷地面積 1,079.78 m <sup>2</sup> 建築面積 501.53 m <sup>2</sup> 延床面積 447.86 m <sup>2</sup>
施設所管課	健康福祉部子育て支援課
指定管理者	株式会社 明日香
指定期間	平成 29 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日
指定管理業務	(1) 子育て支援センター事業 (2) 一時保育事業 (3) 放課後児童健全育成事業 (4) 各事業の利用許可及び利用料徴収に関すること (5) 子育て支援に関する独自事業を行うこと (6) こども館の施設管理に関すること

### ■実績

#### ①開館日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H29	24	24	26	25	26	24	25	24	22	23	23	26	292
H30	24	24	26	25	26	23	26	24	23	23	23	25	292
R1	24	22	25	26	26	19	24	24	24	23	20	0	257

#### ②利用者数(子育て支援センター事業)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H29	841	1,176	1,403	1,399	1,339	1,586	1,561	1,375	1,116	1,018	1,182	1,494	15,490
H30	1,238	1,375	1,449	1,424	1,317	1,209	1,249	1,103	988	941	897	1,415	14,605
R1	1,135	1,078	1,343	1,476	1,343	1,061	1,208	1,336	1,114	1,087	1,067	0	13,248

### ■評価項目評価基準

評価	評価基準
S（優良）	協定書等の基準を遵守し、その水準を上回る内容である
A（良好）	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿う内容である
B（課題あり）	協定書等の基準を遵守しているが、一部に課題がある
C（要改善）	協定書等の基準が満たされておらず、改善が必要である

# 1 業務の履行状況の確認

## ① 事業及び業務の履行状況

評価項目	指定管理者	施設所管課	
	自己評価	評価	特記事項
1. 協定書等で定める開館日、開館時間が遵守されているか	A	A	
2. 利用申請・許可、利用料金等の徴収、減免の取り扱いは適正か	A	A	
3. 施設の利用状況（利用者数、利用率等）は適切な水準か	A	A	
4. 協定書等で定めた職員配置となっているか	A	A	
5. 配置されている職員は必要な資格を有しているか	A	A	
6. 適正な雇用・労働条件が確保されているか	A	A	
7. 緊急時の体制整備がされ、職員に周知徹底されているか	A	A	
8. 緊急連絡網や危機管理マニュアルは、最新の状態に保たれているか	A	A	
9. 避難誘導訓練等は実施されているか	A	A	
10. 協定書等で定めた保険に加入しているか	A	A	
11. 苦情対応に関する体制が整備され、職員に周知徹底されているか	A	A	
12. 個人情報適切に管理されているか	A	A	
13. 市への報告や各種報告書の提出が適切な時期になされているか	A	A	

### 【新たに実施した取組み・改善した点】

- ・一時保育の利用申請や許可について、特別な事由がある場合や減免などの取り扱いなど、随時、市と協議し連携を取りながら、適正に利用できるよう対応した。
- ・10月より実施された無償化の手続きについて、市の規則に基づいて対応できるよう準備し、利用者からの質問等、不明な点は、市と連携を図り対応した。
- ・無償化についての利用料金の内訳などの細かな点について、職員間で再確認、利用者への周知徹底を図り対応。また、利用者が納得し、安心して利用して頂けるよう随時説明した。
- ・支援センター・一時保育の職員は、全員、保育士・幼稚園教諭の資格を有している。
- ・一時保育利用希望者や低年齢児利用が多い場合、緊急利用があった場合など、状況に応じて保育士を増員して配置。多くの方に利用して頂けるよう、また安全に保育できるよう努めた。
- ・緊急対応時の体制強化  
職員体制が変更の度、緊急連絡網を作成。緊急時・悪天候の場合は、常勤や近隣の職員が出勤し施設の状況把握が速やかに出来るよう体制を整備。  
台風15号では、施設や近隣の状況、交通事情等、利用者の安全を考慮し休館。空調設備、電気、水道などに支障がなかった為、乳児用（ミルク）のお湯の提供、一時的に暑さをしのげる場として、施設を開放。  
また、台風の影響による復旧作業、幼稚園の行事日程変更により、一時保育の急遽の利用希望あり。可能な限り利用できるよう協力した。学童クラブにおいても、小学校が休校となった為、朝からの開所を行い対応。  
台風19号の際は、台風15号の影響（被害）を踏まえ、市と連携を図りながら、支援センターを緊急時に開放するため、事前準備を行い、災害時に備えた。
- ・アレルギー児の一時保育預かりについては、アレルギーに関する情報や保育中の配慮など、職員間での共通理解を図り安全に過ごせるように努めた。また、症状が出た際、速やかに対応できるよう消防機関への情報提供の申請を行っている。

・防災・防犯訓練

防災訓練は、月に一度、地震・火災・不審者対応等、想定を変えて実施。緊急時に利用者が安全に避難できるよう備えた。また、施設を初めて利用する際、施設の説明と共に、緊急時の避難の仕方について説明し、体制作りに備えている。今期は、台風の影響、新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、毎月の避難訓練が実施できなかった。

・公園利用者、施設利用者が駐車場を共有しているが、学童クラブや一時保育の迎えの際、駐車場が混雑するため、送迎時専用の駐車スペース（ゆずりあいスペース）を設け、限られた駐車スペースを有効に活用できるよう対策。

・個人情報の管理

個人情報は必ず鍵のかかる書庫に保管。市の他の管轄と連携が必要な場合には、本人の同意を得ている。

【今後の取組み・課題】

- ・今後も、安心して各事業を利用して頂けるよう職員同士の伝達や情報共有を密に行っていく。
- ・アレルギー児の対応など、現状に合わせて対応の更新を行い、安全に保育ができるようにしていく。
- ・台風15号の経験を踏まえ、緊急時や災害時の対応や対策について改めて体制を整備。職員間で共通理解を図り、市との連携を密にしていく。
- ・今期は、台風や新型コロナウイルス感染拡大防止などの理由で、予定していた避難訓練や通報訓練が実施できなかったが、これまでと同様に毎月訓練を行い、緊急時や災害時に備えていけるようにする。

② 独自事業の実施状況

評価項目	指定管理者	施設所管課	
	自己評価	評価	特記事項
1. 事業計画書で予定した独自事業は実施されているか	A	A	
2. 独自事業の実施にあたり必要に応じて保険に加入しているか	A	A	
3. 独自事業の実施にあたり広報等を行い、利用者の拡大を図っているか	A	A	

指定管理者記入欄

【新たに実施した取組み・改善した点】

・中部包括支援センターとの交流

利用者に親しみやすいよう今年度より「キッズ&シニア交流会」と名前を称し、交流、制作あそび、手遊び・体操などの内容で行い、お年寄り子どもたちが交流を楽しめるよう計画。今年度の新しい取り組みとして野菜や花の苗植えを行い、成長を一緒に楽しんだ。また、夏休みには、風鈴作りや折り紙・ゲーム等の内容で学童クラブの児童と交流した。

・学童クラブでは、支援センターや一時保育利用者と共に、夏祭りの雰囲気を楽しめる企画（おまつり）を計画、実施した。

8月には『旧岩崎家末廣別邸』への遠足を実施。気温が高い中の遠足だったが、消防署を休憩所として開放して頂き、熱中症対策を行いながら実施。岩崎家末廣別邸では、富里市の文化財に触れたり、竹細工で水鉄砲を作って遊んだり、児童にとって貴重な経験となる行事となった。

後期は、児童たちが楽しめる新しい試みとしてクリスマス会を実施。クリスマスカードや、オリジナルケーキを作って、楽しんだ。2月には、市民活動フェスタに行き、様々なコーナーを回り、市の行事に触れる機会を持った。

・一時保育

0歳児を含めた子どもたち、それぞれが安全に、落ち着いた環境下で過ごせるよう環境を整備。また、葉山こども園より、ベビーベットを借用し、安全を図れるよう対応した。日々の利用年齢に合わせた保育内容及び対応を行い、連絡帳やお迎え時の報告で、保護者との信頼関係が築けるよう努めた。

・制作あそび等

- ・季節毎に親子で楽しめるような制作遊びを計画、実施している。公園での移動支援についても、おもちゃ作りを行い、親子で作ったおもちゃを活かして楽しめるような企画を計画し、行った。七夕では、旧岩崎家末廣別邸から頂いた竹を活用し、七夕飾りを親子で制作して館内に設置、七夕の雰囲気を楽しんだ。今後も引き続き計画し、年中行事に触れる機会が持てるようにしていきたい。
- ・4月から支援センターに「ぬりえ・お絵かきコーナー」を設置。年齢に応じた遊びが楽しめるよう、その都度対応、改善しながら遊びの充実を図れるようにしている。
- ・葉山こども園との交流・連携  
 去年度まで、園庭での戸外遊びや園児による歌やダンスの発表を見る等の内容で交流を図っていたが、今年度より、先生や園児、支援センター利用者が自然な形で関わりを持てるよう内容を改善して実施。  
 自ら片付けをする、座って話を聞く、ルールを守るなど、日常により近いこども園の生活に触れ、参加した親子の刺激となる部分が多く、良い機会になっていると好評だった。
- ・葉山こども園との定期的な会議の他、常日頃から情報交換や相談をしていきながら、今後も交流を深め、連携を図っていききたい。
- ・富里高校との交流について  
 「サマーコンサート」を実施。支援センター他、中部包括支援センター、葉山こども園、近隣住民の方を招待、去年より、招待枠を拡大した。内容については、富里高校と連携を図り、子どもやお年寄りまでが楽しめるよう音響など工夫して実施した。参加者からは喜びの声が聞かれた。
- ・葉山公園  
 職員有志の「葉山公園をきれいにする会」では、隣接している公園の管理を行い、毎朝、清掃業務を行っている。  
 また、遊具の安全点検や砂場の管理・花の定植と管理・植木の害虫駆除・犬猫の糞の始末、その他、公園の使い方についてのお知らせを掲示するなど、利用者が気持ちよく使えるよう活動している。
- ・ワールドライブラリー  
 昨年度より、ワールドライブラリーによる翻訳絵本レンタルサービスを導入し、今年度も継続。各事業の利用者が自由に手に取り、絵本に触れ、興味や関心が持てるようにした。また、ワールドライブラリーによるイベントを行い、音響を交えながら、大型絵本を楽しめる内容で実施した。
- ・セブンイレブン助成金の活用  
 職員有志の「葉山公園をきれいにする会」でセブンイレブン環境市民活動助成金に応募し、助成金で公園管理に関する物品を購入。花の定植・管理を行い、公園利用者が、季節を感じながら集い、楽しめるよう活動した。  
 花の定植の際は、施設利用者を募って実施。また、咲いた花の花がらを使用して色水遊びを楽しむなど、季節感を感じるだけでなく、子どもが花に関心を持てるような機会を持つことができた。
- ・恒例となっている中央公園での「ミニ運動会」を今年度も予定していたが、豪雨の為中止。楽しみにしている利用者が多かった為、11月の新木戸大銀杏で初めての「ランチタイム」を取り入れ、規模を縮小した運動会を実施した。

#### 【改善点・今後の取組み】

- ・北部地区の充実  
 北部地区に支援センターがない為、北部コミュニティセンターでの移動支援を実施している。  
 引き続き北部地区での支援事業が充実するよう計画・実施できるようにしていく。
- ・ワールドライブラリーのレンタル絵本導入については、より利用者にとって有効となるような企画を計画していく。
- ・歩行ができない0歳の専用スペースをつくり、安全・安心に過ごせるよう室内環境の改善をする。
- ・食や成長についての相談等が気軽にできる環境づくりとして、より専門的な知識を持った保健師や栄養士に来ていただく機会を設けていく。

### ③ 施設の維持管理状況

評価項目	指定管理者	施設所管課	
	自己評価	評価	特記事項
1. 協定書等で定める保守管理業務が適切に実施されているか	A	A	
2. 協定書等で定める清掃業務が適切に実施されているか	A	A	
3. 協定書等で定める施設の管理業務が適切に実施されているか	A	A	
4. 備品購入を行った場合、備品台帳を整備するなど適切に管理されているか	A	A	
指定管理者記入欄			
<p><b>【新たに実施した取組み・改善した点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各点検表を用いて、月1度、施設内点検と室外機の点検を行なっている。今年度は、各事業の日誌の他に、管理日誌も取り入れ、毎日、施設外・施設内・掃除の点検も行なっている。</li> <li>・カーテンクリーニングの実施</li> <li>・12月14日 事務室エアコン清掃（業者による）</li> <li>・3月18日 消防機器の点検</li> </ul>			
<p><b>【改善点・今後の取組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外壁の掃除</li> <li>・台風の被害により破損した網戸・レールの修繕</li> <li>・空気清浄機の修繕</li> </ul>			

## 2 サービスの質に関する評価

### ① 基本的事項

評価項目	指定管理者	施設所管課	
	自己評価	評価	特記事項
1. 利用者に対する言葉遣いや態度等の接遇が適切であるか	S	S	
2. 広報物が見やすく作成され、効果的な情報提供を行っているか	S	S	
3. 職員の資質向上のための研修等を実施しているか	A	A	
指定管理者記入欄			
<p><b>【新たに実施した取組み・改善した点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会に参加し、資質向上に努めた。</li> <li>7月6日 「基礎感覚を育てる発達支援」</li> <li>8月7日 「地域子育て支援拠点施設担当者研修会」（視察研修）</li> <li>1月26日 「児童福祉・保育士倫理・子供の人権・職員間連携等」（明日香主催研修）</li> <li>2月17日 「地域子育て支援拠点施設担当者研修会」</li> <li>3月3日 「支援センターにおける 子ども子育てコンシェルジュの役割」</li> <li>・イベント情報や、お知らせなど、館内に掲示。ホームページやSNSでも掲載し、積極的に外部へ発信した。</li> </ul>			
<p><b>【改善点・今後の取組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も職員の資質向上のために、研修への参加を推進していく。</li> <li>・ホームページやTwitterの利用者が増えてきているので、今後も引き続き情報を発信していく。</li> </ul>			

② 維持管理業務

評価項目	指定管理者	施設所管課	
	自己評価	評価	特記事項
1. 施設は清潔に保たれ、整理整頓がされているか	S	S	
2. 事故の未然防止のため、定期的に設備や備品の確認を行っているか	A	A	
3. 文書管理に関する規定を定め、文書が適切に管理・保管されているか	A	A	
4. 電気、水道等の使用量削減など、環境に配慮した取組がされているか	A	A	
5. 管理運営費節減のための取組がなされているか	A	A	
指定管理者記入欄			
<p><b>【新たに実施した取組み・改善した点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理日誌をもとに毎日、施設外・施設内・清掃点検を行なっている。</li> <li>・節電への取り組みなど、職員一同、経費削減に努めている。</li> <li>・資源回収 年3回（7月・11月・3月）</li> </ul>			
<p><b>【改善点・今後の取組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、施設の安全管理、節電に努めていきたい。</li> </ul>			

③ 運営業務

評価項目	指定管理者	施設所管課	
	自己評価	評価	特記事項
1. 平等な利用を確保し、公平な運営を行っているか	A	A	
2. 独自事業の実施にあたり、事前調整や広報など円滑な実施に努めているか	A	A	
3. 利用者満足度を向上させるための方策を講じているか	A	A	
4. 利用者アンケートの結果を業務改善に反映させているか	A	A	
5. 自己評価を実施し、管理運営の見直しや業務の改善を行っているか	A	A	
6. クレームに対して適切に対応し、以降の運営に活かされているか	A	A	
7. 利用者同士の交流、気軽に子育ての相談ができる環境作りを行っているか	S	S	
8. 施設を子育てネットワークの拠点として活用しているか	S	S	
指定管理者記入欄			
<p><b>【新たに実施した取組み・改善した点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一時保育の利用希望が多い場合は、公平な人数調整をし、なるべく多くの方が利用できるよう対応。 緊急性がある場合は、その都度、速やかに対応し、利用できるよう配慮している。</li> <li>・子育てに関する相談を受けた場合、コンシェルジュ・ファミリーサポートセンター・健康推進課の保健師など、必要である事業と協力し、連携を図っている。必要な情報を提供し、利用者が安心して子育てに関わることが出来るよう対応している。</li> <li>・育児講座 利用者のニーズに合った講座の実施 7月、「応急手当について」富里市消防署の救急隊員による講座 11月、健康推進課の保健師による講座「冬の感染症について」を実施。</li> <li>・施設利用者や公園利用者から真夏に暑さがしのげる場が欲しいという要望が多く、市民の声や現状を市に報告。 砂場に日よけが設置され、真夏でも安心して遊べるようになったとの市民の声が聞かれた。</li> </ul>			

また、公園と駐車場の境の植えこみは、子供の目線位で危険が伴ったため、都市計画課に相談した上で、木を伐採。現在は、花を植えたプランターを置き、子どもが駐車場に飛び出さないよう対策。安全面を確保しつつ、季節感があると喜ばれている。

・健康推進課との連携

今年度より、支援センターでの「母親学級」を実施。その中で支援センターの紹介、どのような場所なのかを知って頂き、またその後の利用につなげ、安心して子育てができるような取り組みをした。

・支援センター職員のあり方

コンシェルジュによる職員研修を受け、支援センターのあり方を学び、職員の共通理解を図った。今後も出産を控えている方や子育て世代の母親に寄り添い、より良い支援センターづくりを全職員で目指していきたい。

・相談記録

相談記録の書式を簡素化し、職員が記録・周知しやすいよう改善。利用者に寄り添った対応ができるよう役立てている。

・向台支援センター・一時保育との連携

今年度から、情報交換をし合う機会を設け、連携が図れるよう努めた。

・学童クラブや一時保育の迎えの際、駐車場が混雑する為、送迎時専用の駐車スペースにプレートを作成・掲示した。

【改善点・今後の取り組み】

・今年度のアンケート結果を元に、より良い運営に取り組んでいく。

・今年度の利用状況を分析し、利用者のニーズに応えていけるよう、講座や支援活動の検討をしていく。

### 3 サービス提供の継続性及び安定性に関する評価

#### ① 施設運営及び事業収入の状況

評価項目	指定管理者	施設所管課	
	自己評価	評価	特記事項
施設運営及び事業収入の状況			
事業収支について収支計画書と乖離がないか	A	A	
管理運営経費は内訳も含め妥当であり、適正に執行されているか	A	A	
指定管理者の経営状況			
監査報告書に異常な指摘事項はないか	A	A	
財務諸表に異常値がなく、前期比変化が大きい場合、その理由は妥当か	A	A	
指定管理者記入欄			
【特記事項】			
・資源回収の実施 年3回（7・11・3月）、資源回収を実施。今後、より多くの方に周知・協力して頂けるよう検討・実施していく。			

## ■総合評価基準

評価	評価基準
優良	すべてが A または S であり、S が 4 割以上である。
良好	A または S が 8 割以上で C を含まない
一部課題あり	すべてが B 以上の評価である
要改善	評価項目に C が含まれている

## ■総合評価

指定管理者		施設所管課	
総合評価 (自己評価)	良好	総合評価	良好
	<p><b>【成果・向上を図った点】</b></p> <p>運営開始から3年、無事に指定管理期間を終えることができた。今年度は、台風の被害・新型コロナウイルス感染拡大防止対策など予期せぬ災害に見舞われる年となったが、職員が一丸となり、迅速かつ柔軟に対応できるよう努めた。</p> <p>また、日頃から市民の皆様にご多大な協力を頂きながら、無事に運営することができた。</p> <p>引き続き、お力添えを頂きながら、利用者に長く愛されるこども館運営を目指していきたい。</p> <p>個々の事業において、特に力を入れて行なったのが、「地域交流の発展」「施設環境整備」である。</p> <p>「地域交流の発展」においては、昨年度より実施している富里高校の吹奏楽部に協力していただき、「サマーコンサート」を今年度も実施。昨年度の経験を活かし、音響調整や招待する方の枠を増やした。</p> <p>参加した方からは、貴重な機会だったと好評だった。</p> <p>また、「中部包括支援センターとの交流」では、毎月の制作あそび、手遊び・体操などに加え、公園の野菜や花の苗植えを行った。また、支援センター利用者だけでなく、風鈴作りや折り紙づくりなどを通して学童クラブの児童とも交流を深めた。</p> <p>新たな取り組みとして、学童クラブでは、夏休みに「旧岩崎家末廣別邸」への遠足を実施。</p> <p>ボランティア団体の末廣倶楽部の方々を中心に、消防署の方、市役所の方、地域の協力を頂きながら、熱中症が心配される時期であったが、無事に行事を終えることが出来た。富里市の文化財に触れたり、竹細工を経験したり、地域の方と交流し、児童にとって貴重な経験となった。</p>		<p><b>【評価すべき点】</b></p> <p>指定管理期間の3年間で利用者との信頼関係が築かれ、こども館の運営が軌道に乗りました。</p> <p>また、様々な機関との連携・協力を積極的に行った結果、子育てネットワークの拠点としての機能が年々充実しています。</p> <p>令和元年度は、台風や新型コロナウイルス感染症の拡大による休館という想定外の事態に対して、公共施設としての役割を十分に認識し、柔軟に対応して頂きました。</p>



「環境整備」においては、施設利用者や公園利用者から、暑さがしのげる場が欲しいという要望を市に報告。砂場に日よけを設置して頂くことができ、公園利用者から感謝の声が聞かれている。

また、公園との境にある木が子どもの視界を妨げ危険だったため、花を植えたプランターを設置。子どもの車場への飛び出し防止となり、安全面が確保された。また、送迎時に駐車場が混雑するため、駐車スペースを有効活用し、「ゆずりあい駐車スペース」を設け対策を行った。

また、セブンイレブンの助成金を活用し、花の苗・プランター等の購入、支援利用者との土入れ・種まき・苗植え・色水遊びなどを行った。公園にお花がある事で、子どもから高齢者まで誰もがくつろげる場、コミュニケーションが図れる場となるよう環境の整備を行った。その他、新たな取り組みとして、利用者のニーズに合わせた「応急手当について」「冬の感染症について」など子どもの健康に関する育児講座を実施。

また、富里市健康推進課と連携を取り、「母親学級」を支援センターで実施し、こども館の紹介、案内を行い、周知につなげている。

また、新たな試みとして、資源回収を年3回実施した。

今後も利用者の意見や要望を把握すると共に、利用者に寄り添えるような、こども館運営を心掛けていきたい。

#### 【課題・今後に向けて】

3年目を迎え、施設の修繕が必要な箇所も出てきているので随時、修繕を行い、子どもたちが安全に楽しく過ごせるこども館にしていく。

また、利用者アンケートで頂いたご意見より、ニーズに合ったこども館の運営を行っていく。

今後も、北部地区での子育て支援活動がさらに充実できるようにし、富里市の子育て世代の方々の力になっていけるようにしていきたい。

また、館内では、0歳の親子が安心して遊べる環境づくり（ねんころひろば）の設置を予定中。

#### 【課題・今後に向けて】

新型コロナウイルス感染症収束の見通しが立たない状況の中、支援センター事業は、予約制となっています。また、一時保育、学童クラブにおいても感染防止のため、家庭での保育に協力して頂く状況も想定されます。

今後は、いかに多くの市民に利用して頂くかという公共施設としてのこれまでの考え方だけにとらわれず、真に子育て支援を必要とする方に対して、いかに必要な支援を行えるかが求められます。

新しい生活様式に対応したこれまでとは違うこども館の運営が必要となりますが、3年間で得られたノウハウをもとに、安全で安心な保育環境や子育てネットワークの拠点としての機能向上に引き続き努めてください。